

# 太宰府市議会議員

かど た なお き  
**門田直樹**

後援会会報  
事務所: 国分5-8-35  
Tel 923-2205  
Fax 986-8876  
(公式サイト)  
[f-icq.com](http://f-icq.com)



## ごあいさつ

議員12年目です。初心を忘れず全力で市の課題に取り組んでいます。現在、太宰府市議会総務文教常任委員会委員長、予算・決算特別委員会の委員長として市政全般にわたり積極的に市の考えを質し、具体的な提案を行っています。太宰府市は多くの課題・問題を抱えています。二元代表制の一方である議会が市民の声を代弁し積極的に活動することで、よりよい施策を進めていくことができると考えています。

これからも現場主義にて調査研究を重ねるとともに、さらに議員としての力をつけその職責を果たします。ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 活動報告 (一部)

### 総合体育館建設問題

本市の借金残高は約200億円です。これは一般会計予算額に相当します。市は「国が面倒をみってくれる」旨の説明をしていますが国の借金も膨大でそのままには受け取れません。国士舘大学跡地の購入、五条保育所の移転等大型の支出が続く中、総合体育館建設が問題になっています。当初から市は十分な説明をしないまま強引ともいえる手法で建設計画を進めてきました。これに対し議会は当初予算の減額修正を決議するなど一定の歯止めをかけました。しかし後に賛否が逆転し、現在は9月の着工を予定して計画が進められています。福祉・教育・医療・防災など課題が山積する中、優先順位が違います。また、ここにきて新たに大きな問題が起きています。市は建設工事費について当初は約14億円と説明していたのですが、昨年12月議会では約22億円、今年2月には約26億円、6月には約28億円と、どんどん金額が上がってきています。さらに「上限はどこまでなのか？」との質問に「2～3倍になれば考える」などと回答しています。これでは予算の意味などありません。また東日本の復興事業や公共事業推進により全国的に建設工事が増加、建材高騰や作業員不足のため入札の不調・不落が増えています。東京五輪の影響もあり建設費の右上がりは今後も続くと考えられます。このような時期に建設強行などせず必要の有無を含め事業の見直しをすべきです。

### 携帯電話基地局問題

多くの市民から携帯電話中継基地局に関して不安の声を聞きます。私はこの問題に平成17年から取り組み、自治体として最低限のルールが必要であると主張してきました。しかし市長は「国が安全と言っているのだから市として特別のことはしない」といいます。トラブルが起きているのは事実であり、市がやらない以上議会にその責任があると考え、平成23年12月議会に紛争防止を目的とした条例案を議員提案し可決しました。その後市長の拒否権(再議)発動により廃案になりましたが、引き続き特別委員会を設置し議論を続けました。その結果本年4月から「太宰府市携帯電話基地局の設置に関する指導要綱」が施行されました。

携帯基地局は宅地の隣や学校・保育所等のすぐそばに突然何の説明もなく建っているのが現状です。

今後はこの指導要綱をもとに事業者と周辺住民が事前協議の場を持つことができると期待しています。

### 防災と道路改良

平成15年の大雨被害は記憶に鮮明に残っています。その後は治山ダム数基の建設や崩落防止工事、雨水路の整備等により大きな被害は出ていません。しかしながら山に降った雨は面積と雨量に応じて決まった水路を流れます。場所によっては溢水・冠水がたびたび起こっており、この解決のため大きな径の導水管を中心道路に埋設し、合わせて道路の拡幅、歩道の設置を行っています。

工事中は通行が不便になりご迷惑をおかけしますがよろしくご理解願います。

### 学童保育所の増設

こくぶ保育園(定員120名)の開園により待機児童の問題はかなり改善されました。一方学童保育に関しては入所希望が定員数を超過し対策を求めています。国分学童保育所(定員65名)についてはその状況を解消するために条例を改正して分割を行い、新たに国分第二学童保育所(定員40名)を設置しました。

今後は長期休暇中の受け入れ等さらに改善を求めています。

## 議会報告会のご案内

日時 5月8日(木) 午後6時～7時

会場 国分公民館2階 ※お誘いあわせの上ぜひご来場ください